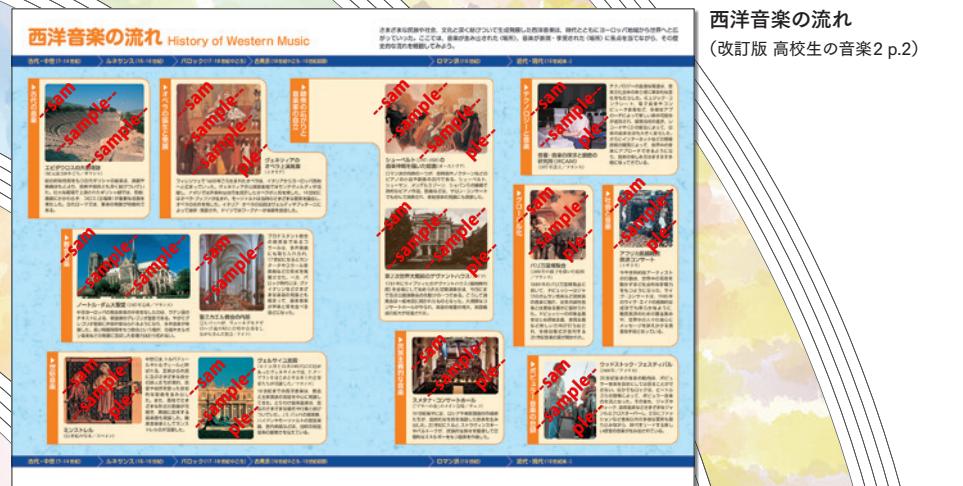


改訂版 高校生の音楽

なぜ、学校で音楽を学ぶのか。

一人一人の個性と多様性の尊重が叫ばれる中、
音楽科の「学ぶ意義」はより一層、明確になるよう求められています。
様々な音楽との出会い、それは自分自身の感性をもってぶつかっていくことであり、
何より違う感性をもつ他者と協働して音楽を作り上げることで、
新たな価値を生み出し、生きる喜びを発見することへ繋がるでしょう。
その喜びこそが、いろいろな発想を呼び起こす視野と可能性を広げ、
社会へと進む生徒の人生を支える糧ともなります。
正解・不正解にとどまらない、それぞれに合った使い方で自分に生かせる、
それが音楽之友社の「改訂版 高校生の音楽」シリーズです。

資料



歌唱



鑑賞



器樂



言葉からリズム& メロディーをつくろう (改訂版 高校生の音楽1 p.110)